

入 札 説 明 書

兵庫県広報紙「GOKOKU県民だより兵庫」及び兵庫県議会広報紙「ひょうご県議会だより」の印刷・新聞折込・運送業務に係る一般競争入札の実施については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 入札に付する事項

- (1) 業務件名
兵庫県広報紙「GOKOKU県民だより兵庫」及び兵庫県議会広報紙「ひょうご県議会だより」の印刷・新聞折込・運送業務
- (2) 仕様
別紙、兵庫県広報紙「GOKOKU県民だより兵庫」印刷・新聞折込・運送業務仕様書及び兵庫県議会広報紙「ひょうご県議会だより」印刷・新聞折込・運送業務仕様書のとおり
- (3) 履行期間
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
- (4) 履行場所
兵庫県（以下「県」という。）が指示する場所

2 一般競争入札参加資格

本件入札に参加できる資格を有する者は、次に掲げる要件をすべて満たし、契約担当者による一般競争入札参加資格の確認を受けた者であること。

- (1) 物品関係入札参加資格者として、県の物品関係入札参加資格（登録）者名簿に登録されている者又は登録されていない者で開札の日時までに物品関係入札参加資格者として認定された者であること。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に基づく県の入札参加資格制限基準による資格制限を受けていない者であること。
- (3) 県の指名停止基準に基づく指名停止を、一般競争入札参加申込書兼競争参加資格確認申請書（以下「入札参加申込書」という。）の提出期限日及び当該入札の日において受けていない者であること。
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立て及び民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされていない者であること。

3 入札者に求められる義務

- (1) この一般競争入札に参加を希望する者は、申込書を令和8年2月13日（金）午後4時までに4(1)で定める場所に提出すること。
- (2) 入札に参加する者は、入札・開札日の前日までの間において、契約担当者から上記(1)の提出書類に関し、説明を求められた場合はそれに応じること。

4 入札参加の申込み

- (1) 申込場所
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
兵庫県総務部秘書広報室広報広聴課地域広報班
電話（078）362-3019（直通）
- (2) 申込期間
令和8年1月27日（火）から2月13日（金）まで（兵庫県の休日を定める条例（平

成元年兵庫県条例第15号) 第2条に規定する県の休日を除く。) 毎日午前10時から午後4時まで(正午から午後1時までを除く。)

(3) 申込書類

ア 入札参加申込書を作成の上、前記(1)の申込場所に直接持参すること。

イ 前記2(1)の事実を確認するため、県が登録時に送付した「物品関係入札参加資格審査結果通知書」の写し及び一般競争入札に参加を希望する者の会社概要を入札参加申込書に添付すること。

(4) 一般競争入札参加資格の確認

ア 一般競争入札参加資格の確認基準日は、前記(2)の最終日とする。

イ 入札参加申込者の一般競争入札参加資格の有無については、提出のあった入札参加申込書及び関係書類に基づいて確認し、その結果を令和8年2月17日(火)までに入札参加申込者に一般競争入札参加資格者確認通知書で通知する。

(5) 苦情の申立て

入札参加資格がないと認められた者は、次により契約担当者に対してその理由について、書面(様式は任意)を持参(郵送又は電送によるものは不可)し、説明を求めることができる。

ア 申立期限

令和8年2月27日(金)まで(兵庫県の休日を含める条例(平成元年兵庫県条例第15号)に定める県の休日を除く。)

毎日午前9時から午後5時まで(正午から午後1時までを除く。)

イ 申立場所

上記4(1)に同じ。

ウ 回答

説明を求めた者に対し、令和8年3月4日(水)までに書面により回答する。

(6) その他

ア 入札参加申込書、関係書類の作成及び提出に係る費用は、入札参加申込者の負担とする。

イ 提出された入札参加申込書及び関係書類は、一般競争入札参加資格の確認以外には、入札参加申込者に無断で使用しない。

ウ 提出された入札参加申込書及び関係書類は、返却しない。

エ 入札参加申込書の提出期限日の翌日以降は、入札参加申込書及び関係書類の差し替え又は再提出は認めない。

5 契約手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

6 入札、開札の日時及び場所

(1) 入札、開札の日時及び場所

令和8年3月12日(木) 午前10時 兵庫県庁第1号館7階会議室

(2) 前記4(4)イの一般競争入札参加資格者確認通知書を当日持参すること。

7 入札書の提出方法

入札書は、参加申込書の代表者名欄に記入した者又は権限を行使する者として届け出た者が作成し、入札日時に入札箱に投入すること。ただし、郵便又は民間事業者による信書の送達に関する法律(平成14年法律第99号)第2条第6項に規定する一般信書便事業者もしくは同条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便(以下、「郵送等」という。)による入札については、入札書を封筒に入れて密封の上、封皮に「業務件名」、「入札」・「入札辞退届」の区別を記入し、令和8

年3月11日（水）午後4時まで以前記4(1)の場所に必着すること。

8 入札書の作成方法

- (1) 入札書は日本語で記載し、金額は日本国通貨とし、アラビア数字で表示すること。
- (2) 入札書の記載に当たっては、次の点に留意すること。
 - ア 年月日は、入札書の提出日とする。
 - イ 入札書の氏名は、法人にあっては法人の名称又は商号及び代表者の氏名とする。
 - ウ 代理人が入札する場合は、入札者の氏名並びに当該代理人の氏名があること。
 - エ 単価は小数点第2位まで記入すること。
- (3) 落札の決定は、入札書の「入札金額」欄に記載された総価格をもってする。入札書には、入札価格の積算に用いた単価を記載すること。

また、落札価格は、当該総価格の100分の10に相当する額を加算した金額とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

9 仕様書等に関する質問

- (1) 仕様書等に関して質問がある場合は、次により文書（様式は任意）で質問すること。
 - ア 提出期間
令和8年1月27日（火）から2月26日（木）まで（兵庫県の休日を定める条例（平成元年兵庫県条例第15号）第2条に規定する県の休日を除く。）、毎日午前10時から午後4時まで（正午から午後1時までを除く）
 - イ 提出場所
前記4(1)に同じ
 - ウ その他
文書は原則として電子メール又はFAXを利用するものとする。
- (2) 回答書は、令和8年3月5日（木）までに入札者に電子メール又はFAXにより通知するとともに、前記4(1)の場所において令和8年3月5日（木）から3月11日（水）まで（兵庫県の休日を定める条例（平成元年兵庫県条例第15号）第2条に規定する県の休日を除く。）の毎日午前9時から午後4時まで（正午から午後1時までを除く。）閲覧に供する。

10 入札保証金及び契約保証金

- (1) 入札保証金
入札保証金の納入を求める場合、入札金額に消費税及び地方消費税相当額を加算して得た額（以下、「契約予定総額」という。）の100分の5以上の額を、令和8年3月10日（火）の午後4時までに入札しなければならぬ。ただし、保険会社との間に県を被保険者とする入札保証保険契約を締結した場合は、その保険証書を入札保証金に代えて同期限までに提出すること。
保険期間は本件入札の参加申込後で、令和8年3月10日（火）以前の任意の日を開始日とし、同年4月1日（水）以降を終了日とすること。
入札保証保険証書の保険金額が契約予定総額の100分の5未満であるときは、当該入札は無効となる。
- (2) 契約保証金
契約予定総額の100分の10以上の額の契約保証金を契約締結日までに納入しなければならない。ただし、保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結した場合は、その保険証書を契約保証金に代えて提出すること。

11 無効となる入札

- (1) 前記2に示した一般競争入札参加資格がない者のした入札、入札者に求められる義務を履行しなかった者のした入札、入札参加申込書又は関係書類に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は、無効とする。
- (2) 一般競争入札参加資格のあることを確認された者であっても、入札時点において資格制限期間中にある者、指名停止中である者等前記2に掲げる一般競争入札参加資格のない者のした入札は無効とする。
- (3) 無効の入札を行った者を落札者としていた場合は、その落札決定を取り消す。

12 落札者の決定方法

- (1) 落札決定に当たっては、財務規則（昭和39年兵庫県規則第31号）第85条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。
- (2) 落札者となるべき同価の入札をした者が2人以上ある場合は、くじによって落札者を決定することとし、落札者となるべき同価の入札をした者は、くじを引くことを辞退することはできない。なお、入札書を郵送した者にあつては、立会人がくじを引くこととする。
- (3) 予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行う。
- (4) 再度の入札をしても、落札者がいないとき又は落札者が契約を結ばないときは、随意契約による。

13 入札に関する条件

- (1) 入札書は所定の日時及び場所に持参又は郵送等すること。
- (2) 入札保証金の納入を求める場合、所定の額の入札保証金（入札保証金に代わる担保の提供を含む。）が所定の日時まで提出されていること。ただし、入札保証金に代えて入札保証保険証書を提出する場合は、保険契約の終期が令和8年4月1日（水）までであること。
- (3) 入札者又はその代理人が同一事項について2通以上した入札でないこと。
- (4) 同一事項の入札において、他の入札者の代理人を兼ねた者又は2人以上の入札者の代理をした者の入札でないこと。
- (5) 連合その他の不正行為によってされたと認められる入札でないこと。
- (6) 入札書に入札金額並びに入札者の氏名があり、入札内容が分明であること。なお、代理人が入札する場合は、入札書に代理人の記名があること。
- (7) 代理人が入札をする場合は、入札開始前に委任状を入札執行者に提出すること。
- (8) 入札書に記載された入札金額が訂正されていないこと。
- (9) 再度入札に参加できる者は、次のいずれかの条件を具備した者であること。
 - ア 初度の入札に参加して有効な入札をした者
 - イ 初度の入札において、(1)から(8)までの条件に違反し無効となった入札者のうち、(1)、(4)又は(5)に違反し無効となった者以外の者
- (10) この入札の対象となる調達に係る予算が議決され、その予算の執行が可能であること。

14 契約書の作成

- (1) 契約書は2通作成し、双方1通ずつ保有する。
- (2) 契約書の作成に要する費用はすべて落札者の負担とする。ただし、契約書は交付する。
- (3) 落札決定後、契約締結までの間に落札をした者が入札参加の資格制限又は指名停

止を受けた場合は、契約を締結しない。

15 その他注意事項

- (1) 入札参加申込書又は関係書類に虚偽の記載をした者は、県の指名停止基準により指名停止される。
- (2) 入札参加者は、刑法、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律等関係法令を遵守し、信義誠実の原則を守り、いやしくも県民の信頼を失うことのないよう努めること。
- (3) 暴力団排除条例（平成22年兵庫県条例第35号）の趣旨を徹底し、暴力団排除を進めるため、契約者には、「ア 暴力団又は暴力団員に該当しないこと、イ 暴力団及び暴力団員と密接な関係に該当しないこと、ウ ア・イに該当することとなった場合は契約を解除し、違約金の請求等についても異議を述べないこと」を旨とする誓約書の提出を求めます。

16 事務担当課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
兵庫県総務部秘書広報室広報広聴課
電話 (078) 362-3019 (直通)
FAX (078) 362-3903
メール kouhouka1@pref.hyogo.lg.jp